

東京では一年中での一番寒い時期である。昔から風の子
こ歌はれてる子供達ではあるが、この頃のお寒さには少々

辟易してか、外へ出る子も減つて来る。又保姆こしても、
日盛りの日當りのいゝ處でならかまはないが、朝の中こか、

薄曇りの日等には、静かに室内で遊ばせ度いこも思ふ。静
かな室内遊びこ言つても、羅漢廻しも、ハンカチ取りも椅

子取りも、そう長續きはしない。そこで、静かな遊びで、
しかも興味の長續きのする誘導保育——旅行ごつこを案出

したわけなのである。

停車場を中心としたいろいろのもの——改札口、切符賣
場、トランク、驛の商品——そう言つた様のものを揃へ
て、旅行ごつこをして遊ぶのである。よく子供等は、椅子
を向ひ合ひに二列に並べたり、二つづくを順々に後ろの方
まで續けて並べたりして、汽車ごつこをしてゐる。前の方
に少し大型の椅子をひとつくり返して置いて機關車こ呼んで

威張つて遊んでゐるが、あれを少し誘導してやるのだこ言
つていゝ。

これの期待效果は、社會生活の興味、それから觀察、製
作。

繼續作業時間は二週間。自由に思ひ出した様に遊ぶこ
は以後しばらく續くが。

切符、トランク作り

此週は、切符こトランクを作る。切符は厚紙で作り、ト
ランクは大型のボール空箱を利用する。空箱の四隅に皮
(賣つてゐる)を貼り(二又の鉢にて)同じ皮で取手等をつけ
るこ、いかにもトランクらしくなる。四隅の皮や取手等を切
る位が子供達の仕事で、やはり大人の手傳が入用である。
出来た人から、もう、トランクを持つて旅行ごつこをして
遊んでゐる。

唱歌遊戲

第一週

唱歌 一回

ユキ（エホンシャウカ）

雪景色を眺めながら歌ふことが出来たら結構だ。

遊戯 三回

ユキ（記事参照）

雪の日の子供たちの喜び様は又格別である。じつはして
はるられない嬉しい氣持を、其の儘表はして、全體を輕
いランニングステップで終始してゐる、氣持のよい動作
である。

新たな年を迎へて、うれしい楽しい氣持をそのまま遊戯

の上にも表はしたいと思ふ。

第二週

唱歌 一回

すゞめ（大正幼年唱歌）

遊戯 三回

すゞめ（記事参照）

無邪氣な可愛い遊戯。

第三週

唱歌 二回

ダルマサン（エホンシャウカ）

だらまさんのお玩具を持つて来て、ころんでも起き、こ
ろんでも起きする面白い様子をよく見せておきたい。

遊戯 二回

ダルマサン（記事参照）

うんこにらんで、うんこ力んで、力強く動作をするとい
ろに面白さがある。

第四週

唱歌 二回

マママキ（エホンシャウカ）

遊戯 三回

マママキ（記事参照）

豆撒きは昔ながらの子供たちにも親しみのある行事だけ
に、この遊戯は大變子供に親しまれる。鬼がコソ／＼こ
逃げて行く様子だの、福の神がニコ／＼こはいつて来る
様子をなか／＼上手にする。

椅子さり(ゲーム遊戯)

殊に寒い日や、雨でも降つて外へも出られない日には、ゲーム遊戯でもして、楽しく皆で遊ぶこよい。椅子さりは皆さん御存じの古くから傳はつてゐる面白い遊びの一

つ。お部屋からめい／＼の椅子を持ち出して、遊戯室に

圓形にならべてこの遊びを始める。いつも幼児の數より一つ椅子を少くして、ピアノに合せて行進する。(時には

駆け走、スキップの曲等をませて)音が止むご大急ぎで腰掛け。席のない人は外へ出る。この様にして一番おしまひまで誰のが残るか?

ユキ

戸倉ハル氏振付
エボンシャウカ

準備 一列圓形を作る

オホユキコユキユキコンコ

圓周に沿つて右へランニングステップで進む。(十六歩)

ご同時に手は両掌を上にむけ體の前にあげ左右交互にあげたりさげたりし、顔は上にむけ上から落ちる雪を掌の上にうける様子をする。

オヤネモ

圓の中心に向つて、兩手を體の兩側から大きく前上に持つて來て屋根の形を作りながら、やはりランニングステップで四歩進む。

オニハモ

上に屋根の形にあげた兩手を斜横後にひらきながらランニングステップで四歩後進三元の位置に戻る。

ユキコンコ

兩手を高く上にあげキラ／＼動かしながら次第に下におろすのと同時に自分の周囲を一まはりする。

スズメノオヤドモ

兩手を左右にあげ羽の様に上下に動かしながら圓周に沿つてランニングステップで八歩進む。

ユキコンコ

前のユキコンコと同じ。

戸倉ハル氏振付
大正幼年唱歌集

準備 一列圓形を作る

一、アチラノ

皆圓の中心をむく、右手を斜右上にあげ人指ゆびでゆび

さす(手を軽く一回ふる)顔はやはり斜右上にむけそちらを見る。

チュンチュンチュンチュンナクヨ

一番_ミ同じ。

ヤネデ

拍手三回する。

チュンチュンチュンチュン

アチラノミ同じ動作を左に行ふ。

ナクヨ

拍手三回する。

クチラバアケテゲンキヨク

拍手しながら自分の周囲を一まはりする。

チュンチュンチュチュチュチュチュン

いやがみ、両手を胸のところに組み頭を、右左右左ごふりかたむける。

サエヅルヨ

いやがむだまゝ胸に組むでるた手を斜後下にのばし軽く羽ばたきの如く動かす。

コチラノヤネデ

一番のアチラノヤネデ_ミ同じ。

マケズニナクヨオモシロク

両手を掌を上にして體の前にひちをまげてあげ兩掌を同時に上に元氣よく顔の邊まであげ又すぐ元におろすこれを八回あげたりおろしたりしながら自分の周囲を一まはりする。

チュンチュンチュチュチュチュチュンサエズルヨ

一番_ミ同じ。

ダルマサン

戸倉ハル氏振付
エホンシャウカ

ダルマサンハエライ

準備 二人づゝ組み、圓形又は列_ミなる。

一人向ひ合つて立ち、各々胸の所に高く腕ぐみをして顔を見合ひながら元氣よく大きく左足を一步後にひく、次に右足を大きく一步後にひく、この時體重は何れも後の足にかかる。

コロンデモオキル

二人ともランニングステップで前進し左側通行で位置交

換して向ひ合ふ、最後のところでは兩膝を揃へてやゝ深く曲げすぐ又のばす。

コロンドモコロンデモマタオキル

二つの足を揃へてさびながら自分の周圍を一まはりする。この時もやゝ深く膝を曲げる。

コロンドモコロンデキ

又ランニングステップで前進し左側通行で位置交換はじめの場所に戻る。

ダルマサンハエライ

向ひ合つて各々腕ぐみをし威張つて左足を一步前に出し、次に右足を一步前に出す。これを二三回くりかへして行ふ。

ママキ 戸倉ハル氏振付
エホンシヤウカ

準備 二人づゝ組み、圓周又は列を作る。

一、オニハソト

二人づゝ組む一方の者をA他をBとする。向ひ合つて立つてゐる。Aは先づ両手を前にあげ掌をBの方にむけてBをおす様子をしながら三歩Bの方にすゝむ、Bはお

バラバラバラバラマメノオト

フクハウチ

今度はBがAを押す。動作は前と同じ。これで元の位置に戻つたことになる。

バラバラバラバラマメノオト

一人さも一方の手で豆の入物を持ち他の一方の手で豆をまきながら自分の周圍を一周する。

オニハ

左手を頭に持つてゆき角を作る同時に左足を強く一步ふみつける。

コッソリ

右手で角をつくり右足を強くふみつける。

ニゲテユク

一人さも小さくかゞみこつそり左側通行で位置交換する。角をつけたまゝ。

二、オニハソトフクハウチ

位置交換したまゝで一番_ミ同じ動作を行ふ。

ハヤクオハイリ

両手で大きい袋の口を持ちそれを肩にかつぐ様子を重さうにする_ミ同時に左足を強くふみつけ次に右足を強くふ

みつける。

フクノカミ

一番_ミ同じ位置交換。

談話

第一週

お正月について

年始、門松、お飾り等の實際に行はれてゐる時は、_{さこ}幼稚園でもお休みで、一月八日に始る頃は、もうそこにはお正月の何の飾りもないわけである。そこで「お正月について」_{さこ}の材料を扱ふならば、これから冬の休みにならうとする終りのころ、よく子供に話しておいた方がいいゝと思ふ。みんなを集めた時に、それは鼠の餅引を話したあともよし、すつかり歸り支度をして先生の挨拶をしづかに待つ、あのさよならの前でもよし。

「もう是だけ寝る_ミお正月が來ますね、今度は幾つにな

るでせう、誰さんは?、それからあなたは?」

順々に一人づゝきいて返事をさせる。七つのもあれば六つになる子もあらう。その上で、その六つになる、或は七つになるお正月について。

「お正月には新らしい年が來るんですよ。そしてみんな誰でも一つづゝお年がふえて、大きくなるでせう。ですから、そのお祝ひに、_{さこ}の家でも日の丸の旗を出して、御門には松を立てたり、お床の間にもいろいろお飾りをしますよ。みなさんの家の飾りをよく見ておいで下さいね。それから、みんなお家人達は大變忙しいんですから、お手傳ひもしませうね」